

## 平成 18 年度 学会発表

---

1) Ichibangase, T., Saimaru, H., Imai, K.

Investigation of FD-LC-MS/MS method for the application to biological samples.

XIIth International Symposium on Luminescence Spectrometry Detection Techniques in Biomedical Environmental and Food Analysis

(19 July 2006, Lugo, Spain)

---

2) 西丸宏、安井英子、高村則夫、今井一洋

二波長同時検出用蛍光試薬を用いるプロテオーム解析法の研究

日本分析化学会第 55 年会 (2006 年 9 月 20 日、大阪)

---

3) 朝本紘充、西丸宏、一番ヶ瀬智子、内倉和夫、今井一洋

新規蛍光誘導体化試薬を用いた HPLC 法によるチオール化合物の定量法

日本分析化学会第 55 年会 (2006 年 9 月 22 日、大阪)

---

4) 西丸宏、桑原知樹、小山彰比古、岩坪威、今井一洋

ヒト $\alpha$ -シヌクレイン遺伝子導入による線虫タンパク質の量的変化について

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 28 日、富山)

---

5) 一番ヶ瀬智子、今井一洋、森屋恭爾、小池和彦

FD-LC-MS/MS 法による HCVcore 遺伝子発現トランスジェニックマウスのプロテオーム解析

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 28 日、富山)

---

6) 朝本紘充、一番ヶ瀬智子、西丸宏、内倉和雄、今井一洋

FD-LC-MS/MS 法を用いたマウス大脳皮質内の加齢に伴う変動タンパク質の探索

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 30 日、富山)

---

7) 加藤(酒井)くみ子、有賀 純、楯 直子

Zic タンパク質の構造と物性

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 29 日、富山)

---

8) 大河原 晋、神野 透人、香川(田中) 聡子、小濱 とも子、徳永 裕司、安藤 正典

皮膚角化細胞で発現するイオンチャネル TRPV3 に関する研究

フォーラム 2005 衛生薬学・環境トキシコロジー (2006 年 10 月 31 日、東京)

---

9) 大河原 晋、神野 透人、香川(田中) 聡子、小濱 とも子、徳永 裕司、安藤 正典

リアルタイム PCR による新規 TRPV3 スプライス変異体の定量

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 28 日、富山)

---

10) 安井英子、和田征夫、今村愛美、高村則夫

$\alpha$ -ジアソエステルを原料とした N-アシルヒドラゾンおよびその誘導体の合成研究

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 30 日、富山)

---

11) 鮫島啓二郎、大谷政博、村上安子、岡孝己、津元裕樹、幸田光復

質量分析によるポリアミン同時定量法の特徴と信頼性

日本ポリアミン研究会 第 21 回研究発表会 (2007 年 1 月 25 日、東京)

---

12) 津元裕樹、村田千恵、宮田直樹、田口 良、幸田光復

質量分析によるタンパク質の同定・定量のためのアミノ基誘導体化試薬の開発

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 29 日、富山)

---

13) 津元裕樹、田口 良、幸田光復

リン酸化 Ser/Thr 部位誘導体化試薬によるリン酸化ペプチドの高感度質量分析法の開

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 29 日、富山)

---

14) 山崎雅恵、鮫島啓二郎、手塚淑人、池口文彦、白幡 晶

ESI-MS によるポリアミンのトレーサー実験における前処理法の検討及び細胞への応

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 29 日、富山)

---

15) Itoh, T., Taguchi, T., Ebizuka, Y., Ichinose, K.

Purification and enzymatic analysis of stereospecific ketoreductase (RED1) involved in actinorhodin biosynthesis.

International Conference on Biodiversity and Natural Products (ICOB-5 & ISCNP-25) IUPAC (25 July 2006, Kyoto)

---

16) Taguchi, T., Fedoryshyn, M., Luzhetskyy, A., Ichinose, K., Bechthold, A.

The novel glycosylated compounds produced by the mutant of landomycin A producer.

International Conference on Biodiversity and Natural Products (ICOB-5 & ISCNP-25) IUPAC (25 July 2006, Kyoto)

---

17) Ichinose, K., Itoh, T., Taguchi, T., Ebizuka, Y.

Functional analysis of a stereospecific ketoreductase involved in actinorhodin biosynthesis.

10th International Symposium on the Genetics of Industrial Microorganisms (GIM2006) (28 June 2006, Prague, Czech Republic)

---

18) Taguchi, T., Fedoryshyn, M., Luzhetskyy, A., Ichinose, K., Bechthold, A.

Purification and structure elucidation of the novel glycosylated compounds produced by the mutant of landomycin A producer, *Streptomyces cyanogenus* S136

10th International Symposium on the Genetics of Industrial Microorganisms (GIM2006) (28 June 2006, Prague, Czech Republic)

---

19) Stephenson, G.R., Brennand, E., Clissold, C., Booker-Milburn, K.I., Ichinose, K.

Chemical tools to probe the enantioselectivity of RED1/RED2 reductions in polyketide tailoring steps.

Chemical Biology: Directing Biosynthesis (The Royal Society of Chemistry) (11 September 2006, Cambridge, UK)

---

20) 橋元誠、田口貴章、西田智、古泉快夫、上野孝治、油田正樹、市瀬浩志

放線菌由来のイソクマリン系抗 MRSA 活性物質に関する研究

日本農芸化学会 2007 年度大会 (2007 年 3 月 25 日、東京)

---

21) 市瀬浩志

放線菌抗生物質生合成に関わる構造修飾酵素の基質認識

日本薬学会第 127 年会 シンポジウム 36 “生合成機構の解明から有用物質生産系の構築へ” (2007 年 3 月 30 日、富山)

---

22) 嶋田努

メタボリックシンドロームに対する漢方薬の効果

TSOD マウス研究会 (2006 年 6 月 16 日、東京)

---

23) 工藤敏之、嶋田努、網川光男、鈴木亘、永田光信、竹田秀一、杉山清、油田正樹

メタボリックシンドロームに対する防風通聖散の効果

第 23 回和漢医薬学会 (2006 年 8 月 26 日、岐阜)

---

24) 嶋田努、池谷幸信、竹田秀一、油田正樹

*Kaempferia parviflora* の薬理学的研究 (1) —肝臓・胆道系に及ぼす作用—

第 23 回和漢医薬学会 (2006 年 8 月 26 日、岐阜)

---

25) 網川光男、嶋田 努、工藤敏之、鈴木 亘、永田光信、竹田秀一、油田正樹

メタボリックシンドロームに対する漢方薬の効果 –大柴胡湯 (TJ-8) の効果–  
第 8 回応用薬理シンポジウム (2006 年 9 月 13 日、千葉)

---

26) 嶋田 努、工藤敏之、鈴木 亘、永田光信、竹田秀一、油田正樹  
メタボリックシンドロームに対する漢方薬の効果 –防風通聖散 (TJ-62) の効果–  
第 8 回応用薬理シンポジウム (2006 年 9 月 13 日、千葉)

---

27) 嶋田努  
TSOD マウスと用いた *Salacia reticulata* の薬効評価について  
第 2 回 TSOD マウス研究会情報交換会 (2006 年 9 月 15 日、長野)

---

28) 嶋田努、鈴木亘、油田正樹  
防風通聖散のメタボリックシンドローム諸症状に対する予防効果  
第 21 回日本糖尿病動物研究会 (2007 年 2 月 8 日、盛岡)

---

29) 赤瀬智子、嶋田努、原沢有紀子、益子由加、工藤敏之、油田正樹  
病態動物 (TSOD マウス) におけるメタボリックシンドロームに対するコタラヒム(*Salasia reticulata*)の効果  
日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 30 日、富山)

---

30) 嶋田努、工藤敏之、綱川光男、竹田秀一、油田正樹  
病態動物 (TSOD マウス) を用いたメタボリックシンドロームに対する漢方薬の有効性の検討  
日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 30 日、富山)

---

31) Hamamoto, H., Kamura, K., Ueno, K., Shimada, T., Sekimizu, K.  
Arylsulfatase found in the midgut digesta of silkworm larvae is secreted from silk glands.  
第 20 回国際生化学・分子生物学会 (2006 年 6 月 18 日、京都)

---

32) 阿部和穂  
神経栄養効果と記憶増強効果をあわせもつフィセチン  
第 8 回応用薬理シンポジウム (2006 年 9 月 12 日、千葉)

---

33) 赤石樹泰、Pamela Maher、阿部和穂  
フィセチンの海馬長期増強促進効果における extracellular signal-regulated kinase  
の関与

第 80 回日本薬理学会年会 (2007 年 3 月 15 日、名古屋)

---

34) 氷見敏行

マイルドな脳虚血に対するレベチラセタムの神経保護作用

第 2 回レベチラセタム基礎試験検討会(2007 年 1 月 18 日、東京)

---

35) Matsuo, Y., Yoshiura, K., Matsuo, H., Yamashita, N.

Longitudinal analysis of elastase -induced emphysema by computed tomography.

11th Congress of Asian Pacific Society of Respiriology (20 November 2006, Kyoto)

---

36) 鈴木順一郎、村上安子、大谷政博、岡 孝己

分化誘導におけるアンチザイムの動態と機能

「ポリアミンと核酸の共進化」第 5 回合同シンポジウム (2006 年 11 月 11 日、東京)

---

37) 鈴木順一郎、村上安子、大谷政博、岡 孝己

膵島分化におけるアンチザイムの重要性

第 21 回日本ポリアミン研究会 (2007 年 1 月 26 日、東京)

---

38) 大谷政博、Kenneth A. Jacobson、岡孝己

マウス膵島細胞におけるプリン作動性レセプター-P2Y1 と P2Y6 の発現とその細胞内カルシウムイオン濃度及びインスリン分泌の調節における働きに及ぼす効果

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 28 日、富山)

---

39) 鈴木順一郎、村上安子、大谷政博、岡 孝己

膵島分化におけるアンチザイムの動態と機能

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 28 日、富山)

---

40) Mihara, K., Iketani, O., Tanigawara, Y.

New biomarkers for acute rejection and therapeutic effect of immunosuppressive drugs in organ transplantation.

The 3rd Korea-Japan Joint Symposium on Drug Delivery and Therapy (21 April 2006, Seoul, Korea)

---

41) Kumagai, H., Kawada, T., Nakazawa, M., Takeo, S., Ozawa, K., Toyo-oka, T.

Symposium 1-4 "Molecular Biology of the Heart Failure:

A final common pathway for the progression of heart failure via dystrophin breakdown -A vicious circle involving calpain-2.

42) Sanzen, Y., Ohta, Y., Kato, K., Kawada, T., Kodama, M., Aizawa, Y., Nakazawa, M.

Proteome analysis of chronic heart failure in the rat.

29th Annual Meeting of the Japanese Working Group "Cardiac Structure and Metabolism" (14 July 2006, Sapporo)

---

43) 石川春樹、池谷修、三原潔、大澤佳子、早川智久、尾原秀明、河地茂行、淵本康史、田辺稔、星野健、島津元秀、森川康英、北島政樹、谷川原祐介

末梢血液を用いた拒絶の遺伝子マーカーAIF1 のラット移植モデルおよび生体肝移植症例における検討

第 23 回日本 TDM 学会学術大会 (2006 年 7 月 16 日、東京)

---

44) 三膳良樹、太田好美、河田登美枝、佐藤 博、仲澤幹雄

心不全心筋のプロテオーム解析について

第 57 回日本薬理学会北部会 (2006 年 9 月 15 日、弘前)

---

45) 岩井美栄子、樋口ゆり子、川上茂、三原 潔、谷川原祐介、山下富義、橋田充

ラット異所性心移植モデルを用いた急性拒絶における各臓器間の NFκB 活性化の評価

日本薬物動態学会第 21 回年会 (2006 年 11 月 30 日、東京)

---

46) 三膳良樹、太田好美、河田登美枝、佐藤 博、吉田豊、仲澤幹雄

心不全ラット心筋のプロテオーム解析について

第 80 回日本薬理学会年会 (2007 年 3 月 15 日、名古屋)

---

47) 福田八寿絵、池谷修、西牟田章戸、鈴木小夜、三原 潔、谷川原祐介

血管新生阻害剤 bevacizumab の薬効指標となるバイオマーカーの探索

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 29 日、富山)

---

48) 湯浅勝敏、土方貴雄

Trans-splicing を用いた DMD に対する遺伝子治療法の開発

日本薬学会第 127 年会 (平成 18 年 3 月 29 日、富山)

---

49) Tokudome, Y., Otsuka, M., Ito, A., LeGeros, R.Z.

Therapeutical Effect of Mg/Zn/F-BCP on BMD in Ovariectomized Rats,

84th General Session & Exhibition of the International Association of Dental Research, (30 June 2006, Brisbane, Australia)

---

50)大塚誠

日米ジェネリック医薬品の品質保証-溶出試験を中心に-

日本薬学会医療薬学部会, 医療薬学フォーラム 2006

シンポジウム「正しくジェネリック医薬品を推進するために-今薬剤師が知っておかなくてはならないことは-

(2006年7月16日、大阪)

---

51)黒野智久、徳留嘉寛、大塚誠、渡辺学、鈴木徹

アモルファスゼラチンの緩和に関する研究

日本食品工学会第7回年次会 (2006年8月3日、つくば)

---

52)大塚誠、大塚邦子、鎌江伊三夫、James Jorgenson

ジェネリック医薬品の国際調和-アセトアミノフェン錠の溶出試験による日米比較-

第16回日本医療薬学会年会 (2006年9月30日、金沢)

---

53)須田将史、徳留嘉寛、高山幸三、大塚誠

粉末X線回折ケモメトリックス法によるカルバマゼピン結晶多形含有量の定量的解析

日本分析化学会第55年会 (2006年9月20日、大阪)

---

54)岩永和之、須田将史、徳留嘉寛、大塚誠、角田洋幸、長谷川健

X線回折-示差走査熱量同時測定法を用いた直鎖ポリエチレンイミン薄膜の転移挙動の解析

日本分析化学会第55年会 (2006年9月20日、大阪)

---

55)Otsuka, M., Tanabe, H., Osaki, K., Ozaki, Y.

Chemoinformetrical Evaluation of Dissolution Property of Indomethacin Tablets by Near-Infrared Spectroscopy.

2006American Association of Pharmaeutical Sciensists Annual Meeting and Exposition (30 October 2006, San Antonio, Texas, USA)

---

56)Tokudome, Y., Ohshima, H., Otsuka, M.

Non-invasive internal structure observation of commercial core shell tablet by X-ray computed tomography.

2006American Association of Pharmaeutical Sciensists Annual Meeting and Exposition (30 October 2006, San Antonio, Texas, USA)

---

57)Okumura, T., Nakazono, M., Otsuka, M., Takayama, K.

An accurate quantitative analysis of polymorphs based on artificial neural networks.

2006American Association of Pharmaeutical Sciensists Annual Meeting and Exposition (30 October 2006, San Antonio, Texas, USA)

---

58)黒野智久、鈴木徹、徳留嘉寛、大塚誠

ゼラチンの緩和に温度、水分含量が与える影響について

D A I 42 回熱測定討論会（2006年10月7日、京都）

---

59)徳留嘉寛、大塚誠

X線CTを用いた長期骨形成促進能の3次元定量評価～生分解性リン酸カルシウムナノサスペンション注射剤からの必須微量金属放出による治療効果～

第23回製剤と粒子設計シンポジウム（2006年10月25日、広島）

---

60)黒野智久、鈴木徹、徳留嘉寛、大塚誠

製剤製造工程におけるポリペプチド結晶多形の安定性とその製剤特性変化

第23回製剤と粒子設計シンポジウム（2006年10月25日、広島）

---

61)須田将史、徳留嘉寛、大塚誠、高山幸三

赤外分光ケモメトリックス法によるカルバマゼピン結晶多形の熱転移挙動に関する研究

第23回製剤と粒子設計シンポジウム（2006年10月25日、広島）

---

62)徳留嘉寛、大塚誠、伊藤敦夫、R.Z. LeGeros

生分解性リン酸カルシウムナノサスペンション注射剤からの必須微量金属放出が長期骨形成促進効果に与える影響

第28回日本バイオマテリアル学会大会（2006年11月28日、東京）

---

63)大塚誠、徳留嘉寛、田邊秀章

NIRによるインドメタシン非晶質結晶化過程に与える環境湿度の影響の評価

近赤外研究会第22回近赤外フォーラム（2006年11月9日、つくば）

---

64)大塚 誠

原料粉末のスペクトルから錠剤硬度や溶出特性などの製剤特性の予測とその機構解明

2006年度 第2回CACフォーラムセミナー（2007年2月2日、東京）

---

65)Ito, T., Abe, K., Yoshihara, C, Tanaka, N.I., Otsuka, M., Koyama, Y.

Effect of IN VIVO Gene Transfection by Freeze-Dried DNA Complexes Coated by Polyanions.

13th International Symposium on Recent Advances in Drug Delivery Systems

(27 February 2007, Salt Lake City, Utah, USA)

---



66)毛利佳史

近赤外分光法を用いた漢方エキス中の微量成分含量のケモメトリックス解析

第 10 回一般用医薬品製剤セミナー（2007 年 1 月 27 日、名古屋）

---

67)大塚誠

粉末 X 線回折法による結晶性医薬品結晶多形定量的分析に与えるケモメトリックス法のインパクト

日本大学理工学部文部科学省学術フロンティア推進事業「可変波長高輝度単色光源の高度利用に関する研究」

シンポジウム「赤外自由電子レーザーとパラメトリック X 線利用研究の進展」（2007 年 2 月 23 日、船橋）

---

68)Tokudome, Y., Otsuka, M., Ito, A., LeGeros, R.Z.

Effects of Mg/Zn/F-CaP on BMD in Ovariectomized Rats on the different rat species.

85th General Session and Exhibition of International/American Associations for Dental Research

(23 March 2007, New Orleans, Louisiana, USA)

---

69)須田 将史、向中野綾、徳留 嘉寛、長谷川 健、大塚 誠、高山 幸三

赤外分光ケモメトリックス法によるメフェナム酸結晶多形の熱力学的解析

日本薬学会第 127 年会（2007 年 3 月 8 日、富山）

---

70)黒野智久、鈴木徹、徳留嘉寛、大塚誠

ゼラチンマトリクス製剤からの結晶形依存性薬物放出特性

日本薬学会第 127 年会（2007 年 3 月 29 日、富山）

---

71)小川 達也、徳留 嘉寛、大塚 誠

多成分高速同時定量分析による複合処方製剤の溶出試験

日本薬学会第 127 年会（2007 年 3 月 29 日、富山）

---

72)内海 俊一、小幡 誉子、須田 将史、徳留 嘉寛、大塚 誠、高山 幸三

角層脂質の分子配列に及ぼす l-Menthol の効果

日本薬学会第 127 年会（2007 年 3 月 28 日、富山）

---

73)濱田 英之、徳留 善寛、大島 広行、大塚 誠

擬似骨構造マテリアルの DDS への応用を目的とした骨再生医療への可能性

日本薬学会第 127 年会（2007 年 3 月 29 日、富山）

---

74)櫻井康亮、富岡貢、村山純一郎、徳留嘉寛、大塚誠

先発医薬品と後発医薬品における品質の同等性～注射剤において～

日本薬学会第 127 年会 (2007 年 3 月 29 日、富山)